

「平成27年度原子力研究、開発及び利用に関する予算の基本方針」の策定方針について（案）

【作成方針】

原子力委員会が平成24年11～12月に公表した5つの見解文に示した原子力研究、開発及び利用に係る今後の重要課題、平成25年12月に公表したもんじゅ研究計画に関する見解及び平成26年4月に閣議決定されたエネルギー基本計画、その後の内外情勢の動向を踏まえて、平成27年において国費を投入して実施すべき取組に関する基本方針を示す。

【章立て】

1. 前書き

2. 基本認識

- ・ 福島第一原子力発電所事故に係るオフサイト及びオンサイトの対応は今後とも最も重要な課題である
- ・ エネルギー需給構造の安定性を鑑み、安全性の確保を大前提に原子力発電を活用
- ・ 高レベル放射性廃棄物については、国が前面に立って最終処分に向けた取組を進める。
- ・ 原子力利用に係る研究開発及び人材の確保・育成は引き続き重要
- ・ 原子力の平和利用の担保、国際社会における原子力利用の健全な発展に向けての取組を着実に実施すべき

3. 基本方針

- ① 福島第一原子力発電所周辺地域における取組
- ② 福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた中長期的取組
- ③ 安全文化の確立と原子力発電の活用に必要な取組
- ④ 高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取組
- ⑤ 原子力研究開発の取組
- ⑥ 原子力人材の確保・育成の取組
- ⑦ 国際社会における責任ある一員としての取組

以上